

WKPT ニュース

リーン生産方式の成果発表



WKPTは台湾經濟部工業局主催の「第1回精工賞加工コンテスト及びリーン推進計画」において、リーン生産方式推進計画の第1位を受賞した。

リーン生産方式(Lean Manufacturing)は、製造工程のムダを徹底的排除によって生産性向上を図り、原価を低減するための一連の改善活動として展開されて、顧客価値を創造する。

WKPTは品質方針に沿って、「三現主義」の考え方をを用いることによって、現場・現物・現実の3つの“現”を重視し、問題の解決を図り、継続的な改善で品質目標を実行する。例えば、加工生産の「平準化」を図り、加工時間を思考した上でプロセスを調整して、均等にばらして生産すること、及び「1個流し生産方式」の考え方をを用いることにより、運搬のムダを改善することで、生産性向上を実現する。2022年3月、WKPTは台湾經濟部工業局主催の「第1回精工賞加工コンテスト及びリーン推進計画」において、リーン生産方式推進計画の第1位を受賞した。今後とも経営に直結した全社的なコスト改善活動を図り、企業競争力を高める。

情報エクスプレス

ロボットの導入による労働力の改善



スマート自動化生産ラインによる労働力を改善する

近年はグローバル産業構造の変化による、人口減少・少子高齢化などの労働市場変化に直面していて、人手不足が常態化している。このようなニューノーマル（新常态）に応じて、欧米各国ではインダストリー4.0の対応が急速に進んでいる。金属加工産業に身を置くWKPTにも、対策をしなければならない。

WKPTの改善案の例をあげていけば、自動車用部品向けのロボットによる自動生産ラインを導入する前に、従来の生産では全て人の作業、毎日は4人の作業員が必要だった。2年前にロボットと自動計測装置を導入してから、作業員が4人から2人になるし、生産効率にも26%ほど向上になってきた。ロボットによる自動化生産を活用することによる、労働力の改善及び生産性の向上と共に実現し、WKPTのデジタルトランスフォーメーション実績の1つである。

産業ニュース

ロシアのウクライナ侵攻に伴う影響



ロシア・ウクライナ戦争による金属原材料価格が高騰

"Nickel is one of several commodities, including oil and other metals such as aluminum, that have rocketed in price since Russia invaded Ukraine. The metal is used in steel-making and increasingly in electric vehicle batteries."
Nickel Prices Sent on Wild Ride by Russia-Ukraine War

ロシアのウクライナ侵攻が始まって以来、各国はロシアに経済制裁を発動しており、ロシア製品の輸入を規制されている。ロシアは豊富な天然資源を有する国家であり、戦争が始まってから、原材料の供給に影響が出ていて、特にニッケル、アルミニウム、パラジウムなどの各種の金属価格は過去最高値を更新し、自動車製造業、半導体業、防衛、航空宇宙業にも重大な影響を与えた。金属の供給は我々金属加工産業に深く関わっております。不安定な状況に対して、WKPTは顧客とサプライヤーへ積極的に調整を行いながら、生産プロセスを最適化する。(下記の如く)

1. サプライヤーと協力して、材料成形の最適化提案を検討し、削り量を減らすことなどによる生産コストを低減する。我が社は「ワンストップソリューション」を提供可能な企業である。
2. 統計的工程管理 (SPC)により確実に品質管理して、工程の状態を安定化させ、不良品を低減し、工場でのムダを削減する。

金属原材料の供給が不安定になっている現在、我が社は顧客へのインパクトを最小限に抑えるように、前述事項を実施する上で、引継ぎ対策を取り組む。